

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局(43) 国際公開日
2004 年 9 月 30 日 (30.09.2004)

PCT

(10) 国際公開番号
WO 2004/083194 A1(51) 国際特許分類: C07D 271/10, C09K
11/06, C07C 13/567, 1/34〒243-0406 神奈川県 海老名市 国分北 1-3 3-1 5
レオパレス B P 2 4 6 A 館 1 0 4 号 Kanagawa (JP).

(21) 国際出願番号: PCT/JP2004/003418

(74) 代理人: 福村 直樹 (FUKUMURA, Naoki); 〒151-0053
東京都 渋谷区 代々木 2-2 1-1 0 代々木パレス 4 F
Tokyo (JP).

(22) 国際出願日: 2004 年 3 月 15 日 (15.03.2004)

(25) 国際出願の言語: 日本語

(81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が
可能): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR,
BW, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM,
DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU,
ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS,
LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NA,
NI, NO, NZ, OM, PG, PH, PL, PT, RO, RU, SC, SD, SE,
SG, SK, SL, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US,
UZ, VC, VN, YU, ZA, ZM, ZW.

(26) 国際公開の言語: 日本語

(30) 優先権データ:
特願2003-72773 2003 年 3 月 17 日 (17.03.2003) JP
特願2003-139675 2003 年 5 月 16 日 (16.05.2003) JP(71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): ヒロセエ
ンジニアリング株式会社 (HIROSE ENGINEERING,
CO., LTD.) [JP/JP]; 〒146-0092 東京都 大田区 下丸子
2 丁目 14 番 8 号 Tokyo (JP).

(72) 発明者; および

(75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 仲矢 忠雄
(NAKAYA, Tadao) [JP/JP]; 〒113-0033 東京都 文京
区 本郷二丁目 3 5-1 6 コータス弓町 4 0 2 号
Tokyo (JP). 松本 良二 (MATSUMOTO, Ryoji) [JP/JP];
〒614-8087 京都府 八幡市 八幡神原 2 4 Kyoto (JP).
飛田 道昭 (TOBITA, Michiaki) [JP/JP]; 〒246-0036 神
奈川県 横浜市 瀬谷区 北新 6-1 2 Kanagawa (JP). 犀
川 知行 (SAIKAWA, Tomoyuki) [JP/JP]; 〒243-0406 神
奈川県 海老名市 国分北 1-3 3-1 5 レオパレス
B P 2 4 6 A 館 1 0 2 号 Kanagawa (JP). 江藤 直伸
(ETOH, Naonobu) [JP/JP]; 〒245-0016 神奈川県 横浜市
泉区和泉町 5 2 9 1 フォンテーヌ ANN 1-1 0 3
Kanagawa (JP). 石飛 達郎 (ISHITOBI, Tatsuro) [JP/JP];(84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が
可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, SD, SL,
SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG,
KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AT, BE, BG, CH, CY,
CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IT, LU, MC,
NL, PL, PT, RO, SE, SI, SK, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG,
CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

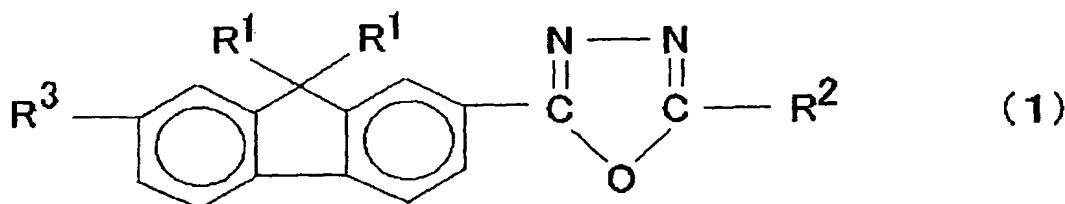
添付公開書類:

— 国際調査報告書
— 補正書・説明書

補正されたクレーム・説明書の公開日: 2004 年 11 月 25 日

2 文字コード及び他の略語については、定期発行される
各 PCT ガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語
のガイダンスノート」を参照。(54) Title: BLUE LIGHT-EMITTING COMPOUND, METHOD FOR PRODUCING SAME AND LIGHT-EMITTING DEVICE
UTILIZING SAME

(54) 発明の名称: 青色発光化合物、その製造方法及びそれを利用した発光素子



(57) Abstract: A blue light-emitting compound is disclosed which emits a blue light with high luminance for a long time when electrical energy is applied. A method for producing such a blue light-emitting compound and a light-emitting device utilizing the compound are also disclosed. The blue light-emitting compound is characterized by having a structure represented by the following formula (1).

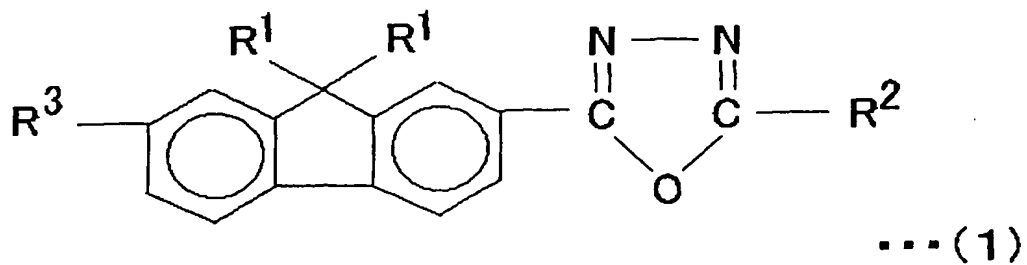
[続葉有]



(57) 要約:

本発明は、本発明は、電氣的印加エネルギーを加えると高輝度でかつ発光時間の長い青色光を発することができる青色発光化合物、その製造方法及びそれを利用した発光素子を提供することを、その課題とし、

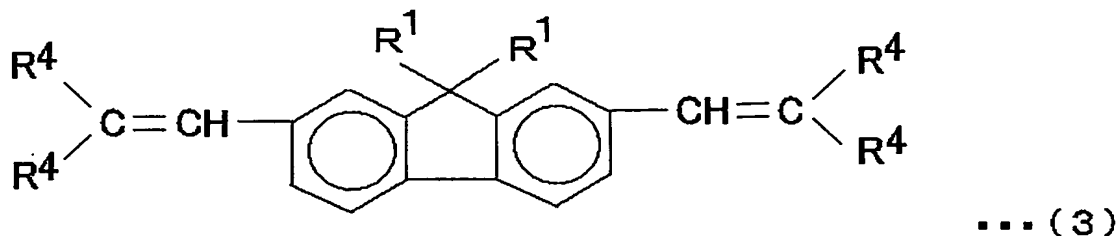
本発明に係る青色発光化合物は、例えば、以下の式（１）で示される構造を有することを特徴とする。



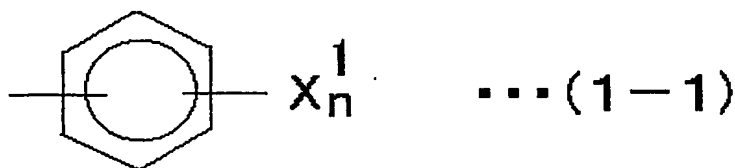
補正書の請求の範囲

[2004年9月30日 (30. 09. 04) 国際事務局受理：出願当初の請求の範囲2,5,6は補正された；出願当初の請求の範囲1,3,4は取り下げられた。(3頁)]

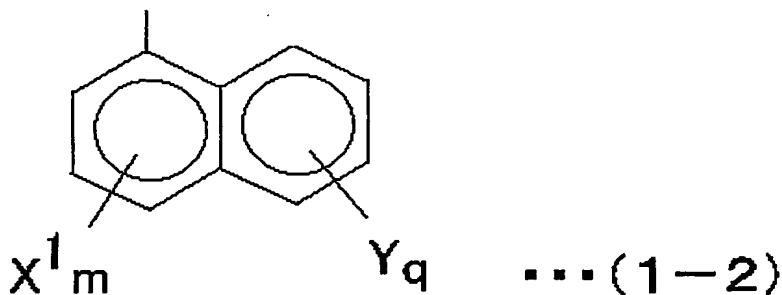
1. (削除)
2. (補正後) 以下の式(3)で示される構造を有することを特徴とする青色発光化合物。



(ただし、式(3)において、 R^1 は、炭素数1～15のアルキル基、炭素数6～15のシクロアルキル基、又は以下の式(1-1)～(1-4)で表されるアリール基を示し、二つの R^1 は同一であっても相違していても良い。 R^4 は、水素原子、以下の式(3-1)で表されるアリール基又はフェニル基を示す。4個の R^4 は、互いに同一であっても相違していてもよい。)

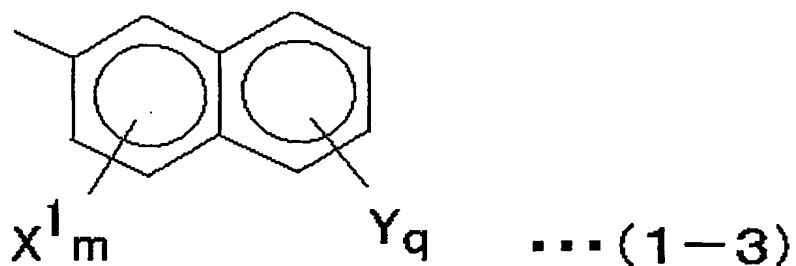


(ただし、式中、 X^1 は、炭素数1～10のアルキル基、炭素数1～10のフッ素原子含有アルキル基又は水素原子を示し、 n は、1～5の整数を示す。)

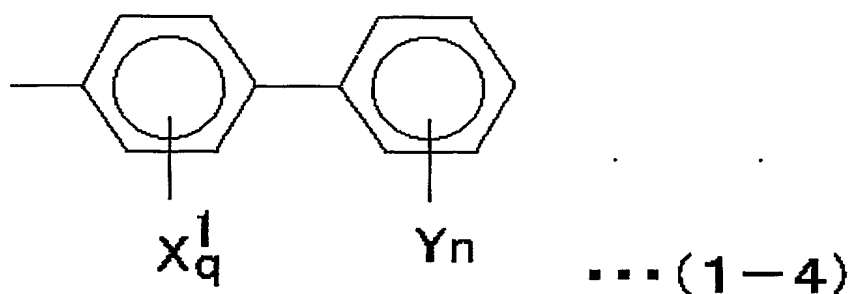


(ただし、式中、 X^1 は前記と同様の意味を示し、 Y は、炭素数1～10のアルキル基、炭素数1～10のフッ素原子含有アルキル基又は水素原子を示す。 m は、1～3の整数を示し、 q は、1～4の整数を示す。又、 X^1 及び Y は、互いに同一であっても相違していてもよい。)

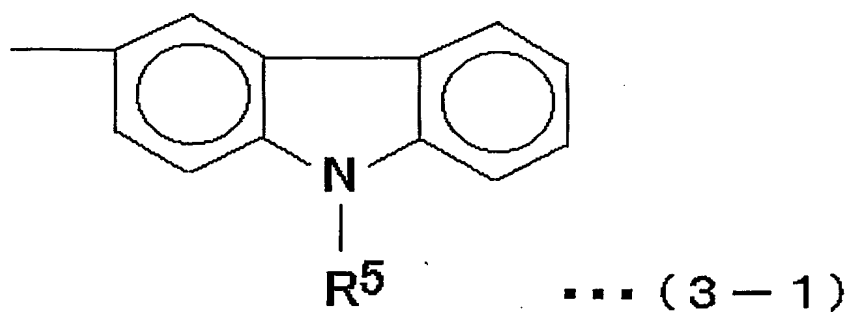
い。)



(ただし、式中、 X^1 、 Y 、 m 及び q は、前記と同様の意味を示す。又、 X^1 及び Y は、互いに同一であっても相違していてもよい。)



(ただし、式中、 X^1 、 Y 、 n 及び q は、前記と同様の意味を示す。又、 X^1 及び Y は、互いに同一であっても相違していてもよい。)

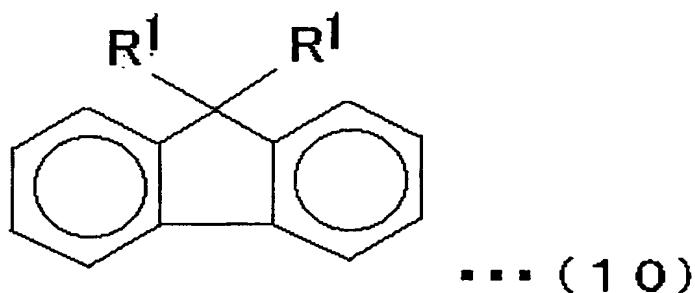


(ただし、式(3-1)において、 R^5 は、水素原子又は炭素数1～5のアルキル基を示す。)

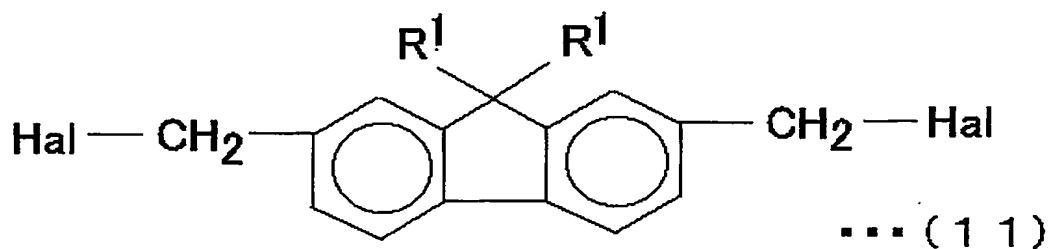
3. (削除)

4. (削除)

5. (補正後) 式(10)で示されるフルオレン化合物をハロゲン化させて得られる式(11)で示される芳香族ハロゲン化合物とトリフェニルホスフィンとを反応させて得られる有機リン化合物とカルボニル化合物とを反応させることを特徴とする前記請求項2における式(3)で示される青色発光化合物の製造方法。



(ただし、式中、R¹ は、前記請求項2におけるのと同様の意味を示す。)



(ただし、式中、R¹ は、前記請求項2におけるのと同様の意味を示し、又、Halは、ハロゲン原子を示す。)

6. (補正後) 一对の電極間に、前記式(3)で示される青色発光化合物を含有する発光層を設けてなることを特徴とする発光素子。

条約19条(1)に基づく説明書

請求の範囲第1項を削除しました。

請求の範囲第2項を補正しました。

引用例3(特開2003-64003)に記載された式(1)で示される化合物は、フルオレン骨格に結合する二重結合に、置換基を有する一個のベンゼン環が結合している。請求項2に記載の式(3)で示される化合物は、(A)フルオレン骨格に結合する二重結合に、置換基を結合しない一個のベンゼン環が結合し、又は(B)フルオレン骨格に結合する二重結合に二個の芳香族基が結合し、又は(C)フルオレン骨格に結合する二重結合に一個のカルバゾール骨格が結合している。したがって、補正後の請求項2に記載された化合物は、引用例3に開示されていない化合物であるから新規性がある。また、引用例3には、フルオレン骨格に結合する二重結合に一個の、置換基を有するベンゼン環を結合する代わりに他の置換基を結合しても良いことを示す記載も示唆もない。